

選挙戦最終日を迎え、人出の多い場所などで街頭演説をする(右から届け出順に)青木氏、清水氏、井田氏、高橋氏、河村氏、上楽氏、辛嶋氏



▶自民党県連・小淵優子会長 将来に責任を持てるのは自公政権だと強く訴えてきた。大激戦となったが、選挙区・清水真人候補、比例代表の釜沼敏候補をはじめ全候補者が粘り強く戦い抜いた。訴えは県民の皆さまに届いていると確信している。

▶立憲民主党県連・後藤克己会長 錯綜する世論に動じることなく、一丸となって候補者の熱い人柄とタイガーマスク運動の実績を訴えた。政権準備政党として食料品消費税ゼロなど財源に責任を持った物価高対策は、多くの県民に届いたと確信している。

▶公明党県本部・福重隆浩代表 「やると言ったら、やり切る。」を掲げ、7選挙区、比例7議席以上を死守すべく全力で戦った。国民の声に耳を傾け、政策に練り上げ、合意形成に汗を流してきた、実現力の公明党が必要であることを訴えてきた。

▶群馬維新の会・宮崎岳志幹事長 既得権益としがらみを断ち切った新しい政治にするため、参院も与党過半数割れに追い込むべく戦った。社会保険料を引き下げる改革を中心とする次世代が希望を持てる社会実現への公約が共感を得られたと信じている。

▶共産党県委員会・渋沢哲男委員長 自公を少数に追い込むとともに、排外主義を許さない決意を持って戦った。共産党の躍進こそ、希望ある新しい政治をつくる力であると訴え抜いた。財源を示した消費減税や賃上げ、コメ増産など政策への共感が広がった。

▶国民民主党県連・浅野哲代表 物価高に直面する国民生活を支えるための「手取りを増やす」政策を中心に訴えた。支持者とオンラインミーティングを行い、SNSの発信力を強化。比例区の過去最高得票を目指し、県内各地で街宣活動にも取り組んだ。

▶参政党県連・熊井戸その子会長 与党の誤った政策で、国民の生活は厳しいものとなっている。参政党は「日本人ファースト」を掲げ、「減税と積極財政による経済活性化」「食の安心・安全」「子育て支援」「外国人優遇政策の見直し」などを訴えた。

▶社民党県連合・松本次男代表 軍事主義的社会の現実化阻止、命・暮らしを冒険し続ける社会の終焉、外国人の人権抑圧による排外主義反対などを訴えてきた。国政政党として生き残ることを至上命題とし、起死回生を図るため支持者拡大に注力した。

▶日本保守党群馬支部・伊藤純子支部長 群馬をはじめ北関東では、自民大国の中で苦戦を強いられながらも、政権への不満や不信を募らせる声が、日本保守党の理念に呼応。党员、支援者の草の根の力が広がり、理念を地域に根付かせる力強い選挙戦となった。

参院選 各党こう戦った

(県組織がある政党、参院勢力順)

群馬選挙区 駅や施設で投票訴え

予算を知り政策
自公政権に力を
全体の予算がどれだけあるのか、本当に他の候補は知っているのだろうか。どこをどう組み替えて政策を打っていくのかを考えないといけないのに、好き勝手にあれをやれ、これをやれなんて言えない。赤字国債をどんどん発行するのか。日銀はこれから国債を買った量を減らすと言っているのに、なんでそんなことが言えるのか。私は不安でならない。だからこそ自公に政権を託してほしい。
(午後7時40分ごろ、高崎市のJR高崎駅西口)

清水真人氏

子ども未来を守り支える政治
政権与党は国民の声を置き去りにしてきた。国民の豊かき、幸せを第一に考えるのが政治家の仕事だ。党が掲げる「日本人ファースト」は至極まっとうなことを言っているだけだ。群馬でいま、台風が起きていて。通過した後に見えるのは青空だ。皆さんの思いを背負って、こ群馬から日本の政治をひっくり返す。皆さんの夢や希望、笑顔、子どもたちの未来を守り、支える政治を目指す。
(午前10時15分ごろ、高崎市のJR高崎駅東口)

青木ひとみ氏

2025 参院選

井田雅彦氏

外国人政策巡り
知識生かし証明
憎しみで政治をしてはいけない。外国人政策を巡って対立が激化しているが、自分は専門家としての知識を基に、外国人の正しい現状理解と新規移民者数の抑制を丁寧に説明していく。これは利権に引張られた既存政党のロボット議員にはできないこと。自分は自由に、言わなければならない政治家として彼らの対立軸になる。机上の空論ではなく、地域の実情を国政に反映させたい。
(午後6時ごろ、伊勢崎市の伊勢崎駅南口)

高橋保氏

外国人の差別や
批判に反対貫く
公然と外国人を差別し、批判する人たちが出てきた。戦争前夜といえる大変危険な状況だ。共産党は103年間、いかなる差別にも反対を貫いてきた。今日本が苦しいのは決して外国人が増えたからではない。臨時、非正規雇用を増やしてきたのは自民、公明の政治だ。共産党を伸ばして、戦争しない国をもっとつ

河村正剛氏

高齢者や障害者
声を政治の場へ
タイガーマスク運動は群馬から広がった善意の輪だった。親を頼れない子どもから始め、高齢者や障害者の支援にも取り組んできた。自身の財産は増えなかったが、出会った人の感謝の声や笑顔が増えた。活動の中で感じたのは、困っている人の声が政治に届いていないということ。国民の暮らしを守り、働く人たちが

高橋保氏

ぐんまちゃんが
高崎駅ジャック
県なごりトリート
JR高崎駅を本県のマスコットキャラクター「ぐんまちゃん」一色にする「ぐんまちゃん高崎駅ジャック」が19日、始まった。テーマは「この夏、ぐんままで約2カ月半にわたり同駅を「ぐんまちゃん駅」とし、県内の温泉地や観光地を巡り、日常から離れた心身を癒やす「リトリート」を楽しんでもらうことを呼びかける。
ぐんまちゃんはこの日、駅長に委嘱されグリーン

上楽宗之氏

挑戦者となって
群馬モデル展開
県人口は187万人。たった20年で7%減った。私たちが託した国会議員が束になつてもだめだった。少子化、経済対策などで群馬を良くして群馬モデルを全国で展開する。選ばれなくなる群馬になつていいの。チャレンジャーである私に期待してほしい。会社が所属団体が応援するからと、考えずに投票するの

高橋保氏

インゲイイベントも行った。家族で訪れた高崎市の森山威さん(33)、智加さん(32)、マリアさん(2)は「駅いっぱいにぐんまちゃんがいてかわいらしい」と話していた。県とJR東日本高崎支社の共同企画。期間中は駅構内の壁面、通路などがぐんまちゃんの装飾で彩られる。同日は蒸気機関車(SL)の新たなけん引車両を使うたGV・SL「ぐんま横川」の出発式も行われたが、走行中に車両が不具合を起し、安中駅で運転を取りやめた。20日の高崎―横川間は予定通り運行し、21日の高崎―桐生間は運休する。
(稲村勇輝)

辛嶋美紀氏

はもうやめよう。自分の頭で考え判断してほしい。皆さんを信じている。
(午後2時40分ごろ、県庁前)

上楽宗之氏

住宅費やローン
下げる政策推進
少子化になっているのは、子どもを育てるのにお金がかかりすぎるからだ。特に家計で大きな支出を占めている住宅費やローンを下げる政策に取り組んでいきたい。民間のインベシヨンを活用しながら「安く良い家を持つなら群馬」という住環境をつくることで、子どもを産み、育てやすい社会をつくりたい。もっと新しい発想で日本の政治を変えていかないとけない。
(午後4時20分ごろ、前橋市のるなびく近く)



インゲイイベントも行った。家族で訪れた高崎市の森山威さん(33)、智加さん(32)、マリアさん(2)は「駅いっぱいにぐんまちゃんがいてかわいらしい」と話していた。県とJR東日本高崎支社の共同企画。期間中は駅構内の壁面、通路などがぐんまちゃんの装飾で彩られる。同日は蒸気機関車(SL)の新たなけん引車両を使うたGV・SL「ぐんま横川」の出発式も行われたが、走行中に車両が不具合を起し、安中駅で運転を取りやめた。20日の高崎―横川間は予定通り運行し、21日の高崎―桐生間は運休する。
(稲村勇輝)

JOBS

未来の地球を思い、資源をつくる仕事

北辰機材には、4つの事業部があります。環境保全を全面的に考え、2003年には「プラスチックリサイクル事業」を開始しました。これからも、リサイクル素材の活用により、持続可能な環境づくりに貢献していきます。



01 木材事業

Timber Business

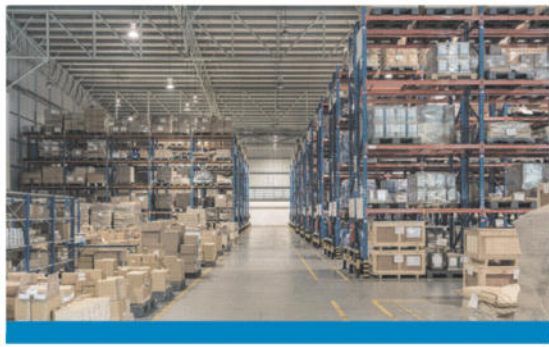
現在の物流において、なくてはならないパレット。設計から生産までを完全カバーし、多種少量から大量ロットまで短納期体制を整えました。



02 段ボール事業

Corrboard Business

段ボールの特性を活かした内装部の仕切りも提案します。「ダンボールパッケージ印刷」で商品イメージも高めます。



03 物流機器事業

Logistics Equipment Business

私たちの物流機器の品質は、考えるよりも使っていただいたほうが理解しやすい。そんな体感性あふれるキャラクター商品を製造しています。



04 プラスチックリサイクル事業

Plastic Recycling Business

いかに、今使っている資源を有効に活用することができるのか…。今まで捨てていたものが資源になる…。そして、そこから新しい製品が生まれています。

HOKUSHIN



北辰機材では「パレット」「段ボール」「物流機器」「プラスチックリサイクル」の分野で事業を展開しています。取引先の皆様から愛される製品づくりを心がけると共に、環境保全を念頭にした取り組みに力をいれています。

地球の色を守り、未来の色を描く。 北辰機材株式会社

伊勢崎市境東新井1270-8 Tel 0270-76-1515



PLASTIC RECYCLING BUSINESS

循環型社会の形成をめざす、北辰機材の新たな取り組み

今、社会で一番関心のある環境問題。当社はそうした時代のニーズに対応し、循環型社会の形成のために、プラスチックリサイクル事業を開始しました。一般家庭から排出される容器包装プラスチック類を、選別、破碎、洗浄、乾燥し、リサイクルパレット化した原料を使用して、ウッドデッキを制作しています。



ハンディウッド

What is "Handy Wood"

当社で製造したハンディウッドは、実は皆さんの身の回りの様々なところで使われています。木材とプラスチックの良いところをあわせ持った次世代再生木材ハンディウッドのウッドデッキは、ナチュラルな質感によりぬくもりのある空間を演出します。

